

生ごみが堆肥化・減容化されるまで

生ごみ処理機

高温バイオ式

乾燥式

①生ごみ処理機にバイオ基材が入っている状態です。



※高温バイオ式とは、好気性土壌菌による高温分解方式のことを言います。
高温バイオ式の他に、バイオ式(好気性土壌菌による常温分解方式)もあります。

②生ごみを投入します。



※生ごみはほとんど投入可能です。
野菜・果物くず／ご飯・麺類
魚介類のくず・皮／肉類・茶殻
その他一般的に人が食べる食材・調理物

※牛・豚の骨、硬い貝殻、梅干しの種などは処理できません。

③生ごみ投入後1時間経過



※生ごみを投入するときは、十分に水切りをしてください。

・処理槽内の水分が多いと、処理し切れずにべとついたり、臭いが強くなる原因になります。

④生ごみ投入後2時間経過



約 80°Cの高温バイオで処理します。

⑤生ごみ投入後4時間30分経過 (処理完了)



※生ごみが 1/4～1/8 に減容されました。
※1日 400gの生ごみを排出した場合、
処理機には、約 1.5ヶ月分の処理物を
ためることができます。

◇◇処理物は栄養たっぷりな有機肥料としてリサイクル！！◇◇

- (Ⅰ)処理物と土を1:1の比率でよく混ぜ合わせます。
- (Ⅱ)日陰で約1ヶ月間寝かせて、よくなじませます。
- (Ⅲ)使用の際は、約2倍の量の土と混ぜ合わせてください。

①生ごみ処理機(空の状態)



※乾燥式は、生ごみの水分を乾燥させて量を減らします。

②生ごみを投入します。



※生ごみはほとんど投入可能です。
野菜・果物くず／ご飯・麺類
魚介類のくず・皮／肉類・茶殻
その他一般的に人が食べる食材・調理物

※牛・豚の骨、硬い貝殻、梅干しの種などは処理できません。

③生ごみ投入後1時間経過



※生ごみの水分を十分に切って処理すると早く乾燥し、電気代の節約になります。

④生ごみ投入後2時間経過(処理完了)



※生ごみが約 1/7 に減容されました。
※1日 400gの生ごみを排出した場合、
処理機には、約 1週間分の処理物を
ためることができます。

※出来た処理物は「有機肥料」素材として使え、また燃えるごみとして捨てることもできます。

「有機肥料」素材を土によく混ぜながら埋めると、栄養分のある良い土ができます。植物の生育に必要な養分をバランス良く含んでいるので園芸に利用できます。

※「有機肥料」素材が直接根に触れないようにしてください。

◇ 市では、家庭用生ごみ処理機等を購入し、自家処理を行う方(事業者を除く)に対し購入費の一部を補助しています。